

European Conference on Pattern Language of Programs (EuroPLoP)における

ソーシャルアントレプレナーシップ・パターンの向上に向けた研究発表

総合政策学部3年

下向依梨

【1.活動の日時・会場】

2012年7月11日～15日 ドイツ・Kloster Irsee

【2.活動概要】

EuroPLoP とは、毎年ドイツ・イルゼーで行われている、パターン・ランゲージの国際学会です。この学会の形式は一般的な学会とは異なり、研究発表のプレゼンテーションを行うのではなく、自らが作成したパターン・ランゲージについての論文を事前に提出し、他の参加者が論文に関してフィードバックを与え合う『ライターズ・ワークショップ』を中心に構成されています。その他に、パターン・ランゲージの基本的な書き方を学ぶワークショップや、これからのパターン

の可能性に関して話し合う場、またチームビルディングを促進させゲームを使ったワークショップなどがあり、同じパターンを書く仲間との意見交換や交流を持つ機会になっています。

【3.本活動の目的】

本研究は、ソーシャルアントレプレナーシップ（社会起業家精神）の概念や社会の問題を解決する『コツ』をパターン・ランゲージの手法を用いて言語化することで、自ら問題を解決していくような「チェンジメーカー」を育てることを目的としています。パターン・ランゲージとは、これまで言語化されていなかった『コツ』を状況・問題・解決という形式を用いて、言語化するというものです。そこで、本研究では、社会にある問題を自らが解決していくための『コツ』を、状況、よく起こりがちな問題、それを解決するための解決策と具体的なアクションに分け、記述する。このパターンの作成するにあたって、10名の社会起業家に対するインタビューを行い、そこで得たパターンの素となる要素を抽出し、パターンに落とし込むことで言語化をしていき、それを冊子化しました。

【4.活動の成果】

この活動を通して、以下のような成果を得ることができました。

- a) 全31パターンを収録したソーシャルアントレプレナーシップ・パターンランゲージの冊子の完成

→作成背景、作成手法、パターンの全体像、各パターンにおけるイラスト、今後の応用の

可能性を記述した冊子を学会の全参加者に配布しました。

b) パターン向上に繋がる有用なフィードバック

→文量が少ないことや、パターンの文中における社会起業のコンテキストとの関連性が希薄であることを指摘され、今後これらの点を改善するべく、それぞれのパターンに「具体例」を追記することを考えました。

c) パターン・ライター コミュニティにおけるネットワークの強化

→同じ問題意識を持った研究者と、パターンの書き方やこれからの展開について意見交換を行うことができました。



[ライターのワークショップの風景]

[パターン冊子とメンバー]

[ゲームを使ったチーム・ビルディング]

【5.おわりに】

今回の学会を通して、パターンの向上やワークショップや教育プログラムなどのパターン応用の可能性についてアイデアを練ることができました。また、日本国内のみならず、世界各国のパターン・ランゲージの応用について知ることができ、今後グローバルに研究を展開していくための足がかりにもなりました。指導いただいた井庭崇先生、清水唯一朗先生をはじめ、助成金をいただいた湘南藤沢学会様にこのような機会を手助けいただいたことを大変感謝しております。